



故 石井兼治郎さんに
「正六位」の叙位が
贈られました

平成28年12月29日に亡くなられました石井兼治郎さんに、生前の教育に対する功績が認められ、内閣総理大臣より「正六位」の叙位が贈られ、ご遺族に伝達されました。

石井さんは、昭和19年の久田見国民学校(現 久田見小)時代から、久田見中学校、潮見小学校、八百津小学校、福地小・中学校などを経て、昭和59年3月八百津中学校長で退職され、町内の学校教育に深く携わってこられました。

石井さんは、平成23年に「瑞宝双光章」を受章されており。

(注)「正六位」とは位階制度の位で、位階とは、国家に対し勲功・功績のあった方に授与される栄典の一つで、死亡した方にのみ運用されています。



「こんにちは」❤️ 赤ちゃん

たはら める ちゃん
田原 愛留 ちゃん
2017年3月22日 生まれ

「早く大きくなってね。
これからいっぱいあそぼう!!」

保護者 恵輔・愛梨(須賀)



中学生 自転車運転免許講習会



4月27日(木)、美濃加茂市前平町の加茂自動車学校で、八百津町内の中学校1年生全員を対象とした自転車運転免許講習会が行われました。

講習会には、この春中学校に進学した、八百津中学校86名、八百津東部中学校11名、全97名の生徒が参加しました。

堀部教育長は参加した生徒たちに、「自転車通学を始める生徒がいることもあって、中学1年生は自転車事故を起こしやすい。今日は自転車の技術だけでなく、安全に走行する方法をしっかり学んでほしい」と言葉をかけました。

私たちは、少し緊張した面もちで講習会と、その後に行われた実技試験に臨みました。

講習会では、正しいヘルメットのかぶり方、安全確認方法、自転車の運転技術について学びました。

実技試験では、見通しの悪い交差点での安全確認、信号のある交差点の通行、波状路の走行、狭い道の走行、スラローム走行、急制動の6つの試験を受けました。試験には参加した全員が合格し、無事に自転車運転免許を手にしました。

参加した生徒は、「車道を横切る前には必ず停車して、左右の安全確認をしたい。」と話しており、交通安全への意識が高まったようです。

